



トルコにおける日本年「さくらプロジェクト」

「さくら記念植樹ワークショップ『縁引』

&美術交流シンポジウム『美術と市民』」



1. 事業の概要

2. 趣旨

3. みなさまからのご支援をころからお願いする理由

4. 事業の目的・趣旨の詳細

1. 事業の概要

2010年のトルコにおける日本年を基軸にして、3年間連続して日本の象徴である桜の苗木を毎年1000本ずつトルコの各地に植樹する記念事業プロジェクトです。

この事業を契機にトルコにおける国民による植樹運動への展開を促進させ、植樹を通して地球環境への関心の進展に寄与するものです。

併せて、さくら植樹に付帯する日本の工芸文化の紹介並びに文化・教育活動の展開を、現代美術画家 流麻二果さんの企画により実施いたします

2. 趣旨

- 1) 日本の桜木をトルコ各地で植樹をすることを通じて、両国の恒久的友好関係を深めます。
- 2) トルコでの桜木の育成並びに植樹育成専門家の養成を目指します。
- 3) 2009年がトルコ地震10周年であることを配慮した震源地での記念植樹を行います。
- 4) 立ち枯れの補充、新規要請にも対応するために、3年連続の事業とします。
- 5) 日本年の足跡を恒久的に桜公園、桜並木として留めることができます。
- 6) トルコにおける植樹運動の促進、地球環境展開に資する期待ができます。

3. みなさまからのご支援をころからお願いする理由

- 1) 日本の桜の植樹であり、3年間の長期にわたるおおきな事業です。
- 2) 植樹先が日本関係施設、三笠宮殿下が長年にわたり発掘、研究を続けておられるカマン・カレホユック遺跡に建設されたアナトリア考古学研究所・博物館庭園、日本との姉妹都市関係にある自治体の日本庭園、日本企業の工場敷地、大学キャンパス、トルコ自治体の保有公園など多くが日本に関係する拠点であります。
- 3) 我が国ほど関心がもたれていない植樹運動をもっとトルコ国民に知ってもらえる一助となり、また地球環境

における植樹の重要性を伝える一助にもなります。

- 4) 日本年のオープニング式典で記念植樹が予定され、併せてエンディングでの植樹も行います。
- 5) トルコ年である2010年の単年度を超える恒久的な事業であります。
- 6) おおきなプロジェクトであるために相当の運営費の助成・支援を広く日本のみなさまからいただきたく、それによって100年間の夢のあるプロジェクトに育っていきます。
- 7) さくら記念植樹ワークショップ「縁引」は、日本の伝統工芸である水引をベースとした新しい創作であり、併せて日本の贈り物の文化の紹介になります。
- 8) 美術交流シンポジウム「美術と市民」(2010年12月にイズミット、イスタンブールで開催予定)は、両国の美術作家、美術学生並びに市民との交流をはぐくみ、日本とトルコの現代美術の相互紹介と理解の促進に寄与します。

4. 事業の目的・趣旨の詳細

目的:

- 1) 本事業を含め3年間の事業継続により、トルコ国内においてわが国の文化であるさくらへの関心度が高まります。
- 2) 本事業を通じて、トルコ市民の間ではまだなじみが薄い植樹、植林に対しての啓発活動に寄与することになります。(当初、市民によるサクラ並木の創設を計画したが、トルコの各方面の専門家より、管理が行き届かない道路での植樹は枝を折られるなど危険であると忠告を受けた。そこで、植樹は自治体、大学、日本との姉妹都市、日本企業の施設、公園、キャンパス、植林事業者など専門家が常駐して管理が望める拠点を選択した。)
- 3) 3年間の事業継続を通じて、新たな自治体、小学校を含む教育機関、道路公園、企業や住宅地域にサクラが植樹され、新しい景観づくり(まちづくり)並びに環境改善促進の礎となります。
- 4) さくら育成活動を通じて、トルコにおいてさくら苗木の栽培育成事業や園芸事業が新たに創設されます。

趣旨・効果:

- 1) 親日的なトルコにおいて日本のさくら文化を通じて、さらなる両国の親善に寄与します。
- 2) 3年間3000本のさくら苗木の植樹並びに育成技術の伝承により、広くトルコ各地に日本のさくらが伝播され、各地にさくらの名所が誕生します。
- 3) さくら苗木の植樹を通して、トルコ国民に向けて植樹の大切さの認知への一助となり、併せて環境問題への取り組みの一環に資することが期待されます。
- 4) 日本年における事業のなかで、恒久的にトルコ国民の中で記憶にとどめられる事業となります。

(1) 会期・会場

12ヵ所(現時点)に植樹。植樹時期はサクラは冬期に限定されるため、2010年1月、2月及び11月、12月となります。但し、日本庭園など施設の造成が6月の夏季になる場合は、1月に式典用の植樹のみを行い、残りは11月以降に実施する予定です。なお、第2回目のサクラ苗木の植樹は、2010年11月以降に実施し、初回の植樹地における

補充並びに追加及び新規要請地において植樹されます。また、第3回目は2011年末に実施されます。

(2) 主催

AICAT(国際協力アカデミー)

(3) 後援

在トルコ日本大使館 在イスタンブール日本総領事館

さくら記念植樹ワークショップ「縁引」&美術交流シンポジウム「美術と市民」に対する後援を「国際交流基金」より戴いております。

(4) 協賛

さくら苗木の提供は、キーペックス社 斉藤宏氏 そして、現在、日本の市民のみならず、企業にご支援をお願いしております。

(5) 協力

トルコ植樹先の自治体、団体、大学、企業 & 「縁引」有田昌史 R&DMAK 社

(6) 「縁引」制作協力

女子美術大学 女子美術大学附属中・高等学校 谷根千こどもアトリエ (追加予定)

(7) 本事業誕生の背景

1999年のトルコ大地震(8月、11月に発生)以来、毎年、地震被災者支援並びに防災啓発活動を主体とする「こころのパン」プロジェクトを実施してきたなかから、本事業の構想を企画したもので、2010年トルコにおける日本年にあたり、実施の運びとなりました。

(8) 団体連絡先

AICAT(国際協力アカデミー) 副代表 中浜慶和

〒108-0075東京都港区港南2-18-1JR 品川イーストビル

ダイキン工業株式会社気付

電話:03-6716-0121

FAX:03-6716-0121

E-mail:yoshikazu.nakahama@daikin.co.jp



★AICAT がトルコ地震(1999年8月)以来、実施してきた「こころのパン」プロジェクト総集編を掲載しておりますので、併せてごらん下さい。

以上